

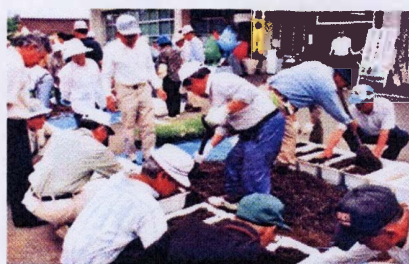
過去に当社が原情報を著作した新聞・雑誌等の記事は、画面上の閲覧のみが可能です。これら記事は過去に公開されたものですが、現状で利用するには著作権等が発生する場合があります。利用をご検討の方は当社にご相談願います。

日本環境保全株式会社

# 平成10年5月15日発行 広報ひとよし第627号より抜粋

## 国体選手を花で歓迎 ボランティアが作業

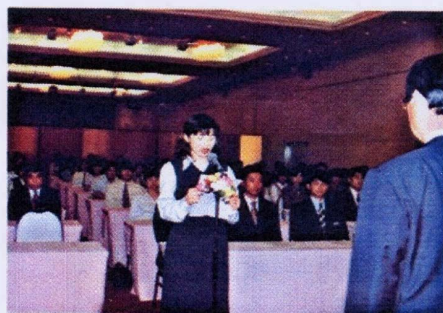
国体に参加する選手を花で歓迎しようと、老人クラブ会員や公募により集まった一般市民など花のボランティア約百二十人が集い、国体開催五百日前にあたる四月二十九日、市役所玄関前で花づくり講習会を開きました。



花の苗を植えられたボランティアは、市役所や公共施設ほかで国体啓発に活用することになっています。

## 早く一人前になって 会社に地域に貢献を

### 地元就職者激励会



会が開かれ、新社会人や企業の担当者など約百人が参加しました。

会では、松村昭人吉球磨雇用対策協議会会長が「景気が悪く、厳しい雇用状況のなか地元企業が採用された皆さんは、幸せです。未来を担うため、明日からといわず努力して欲しい」と激励。福水市長と

前原町村会会長が祝辞を述べました。

これを受けて、就職者を代表し人吉通信建設株式会社の松本あかねさんが「初めての社会生活で、期待と不安でいっぱいですが、社会人としての自覚を持ち、困難も乗り越えるよう努力し、会社や地域社会に貢献できるように頑張りたい」とお礼の言葉を読み上げました。

最後に、春田尚子さんが「ここで損している。しゃべりと態度」と題して記念講演を行って

## 3年目迎えた さわやか

### 長寿大学校

熊本さわやか長寿財団が主催する「熊本さわやか長寿大学校人吉校」の入学式が、四月二十八日、総合福祉センターで行われ、五十五歳から八十一歳の六十八人が入学しました。

長寿大学校人吉校は、県南部地域の県民を対象に、平成八年度から熊本校に次ぐ二番目の学校として開学され、三年目とな

っています。これから一年間にわたり「おしゃれ科」「おいし科」「ためした科」など六科目・二十講座を学ぶことになっています。

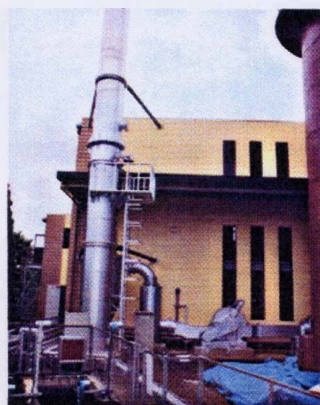
入学式には福島県知事も学校長として出席し「生徒全員が、積極的に活動し、生きがいをもって余生を充実して欲しい」と式辞。

入学者のなかで最高齢の松岡愛子さん（八十一歳）が「来春は、全員そろって卒業できるよう頑張ります」と誓いの言葉を述べ式典終了しました。

## 焼却灰を溶かして減量 実証炉全国に先駆け運転

実証する工場設備「超小型焼却灰溶融炉」がこのほど完成し、

ごみを燃やしたあとの焼却灰を、安全に、減量できるかどうかを



右側の茶色の構造物は、山江ごみ処理場の煙突

五月六日、工場が建てられた山江ごみ処理施設の一角で竣工式が行われました。

この設備は、茨城県に本社を置く日本環境保全株式会社が開発したもので、焼却灰を摂氏六五〇度から一八〇〇度の高温

で溶かし、ガラス状の固形物（スラグ）に処理するというものです。焼却灰の体積を、およそ十分の一に減量できるとしています。

また、高温で処理するところからダイオキシン（強い発がん性のある環境汚染物質）の排出抑制にも効果があると、期待されます。

今後一年間をかけて、一千時間の連続運転を行うなど、厚生省の補助対象として認定基準を満たすか検証することになっています。全国に先立ち、人吉球磨での実証開始です。